

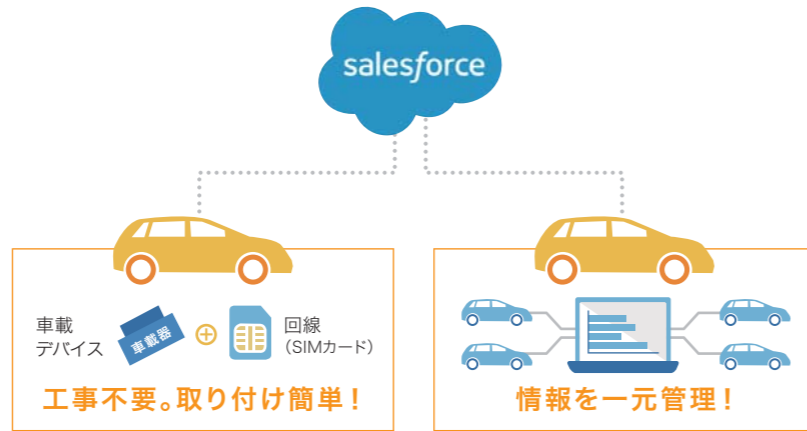
## Cariotとは

車載機の取付は、工事不要で簡単。

従来は見えなかった営業車の情報を一元管理し、リアルタイムで可視化できる車両管理システムです。

顧客情報管理のためのクラウドサービスSalesforce上で稼働しているため、勤怠管理をはじめSalesforceで提供されるさまざまな機能とも連携可能。

「コンプライアンス強化」「安全性向上」「コスト削減」「業務の効率化」などの課題解決をお手伝いします。



## 導入メリット

車両数の削減	事故の削減	業務外利用の削減	日報入力業務の効率化
<p>部門ごとの車両稼働率、同時最大稼働数を見える化し、最適な車両台数を算出。車両数の削減や車両配備の適正化を図れます。</p>	<p>急加速、急ブレーキの検知により、危険運転の多いドライバーを発見。運転指導を強化し、事故を削減できます。</p>	<p>走行データや車両の稼働時間表示（ガントチャート）で目的外利用を発見し、業務と関係のない不正利用を無くします。</p>	<p>運行地区や走行距離などのデータを取得し、帰社後に手書きで作成していたルート日報を自動生成できます。</p>

## 主な機能

<p>車の位置をリアルタイムで確認できる「エアリアルマップ」</p>	<p>指定車両の現在地を見るためのURLを発行できる「DriveCast(車両現在地の配信)」</p>	<p>特別な操作なしに走行を記録し、レポートも出力できる「走行履歴・車両利用報告書」</p>	<p>車が滞留していた場所が一目でわかる「ヒートマップ」</p>	<p>車の稼働状況を確認することができる「稼働率レポート」</p>
<p>危険運転を記録・集計できる「危険運転検知」</p>	<p>さまざまな種類のレポートを出力できる「レポート&amp;ダッシュボード」</p>	<p>画面を見ながら簡単に車を予約できる「予約管理(運行予定/実績)」 ※オプションライセンス</p>	<p>組織や役職ごとにデータの閲覧内容を制御できる「権限設定」</p>	

●Canon、Canonロゴはキヤノン株式会社の登録商標です。●本紙に記載されている会社名、商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。●記載の内容は2018年6月現在のものです。●弊社の都合により予告なく変更させていただく場合がありますのでご了承ください。

製品に関する情報はこちらでご確認いただけます。

[canon.jp/solution](http://canon.jp/solution)  
 キヤノン 導入事例一覧  
[canon.jp/solution-case](http://canon.jp/solution-case)

Canon キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 CANON STOWER

●お求めは信用のある当社で

2018年6月現在

## 導入事例 アサヒ飲料株式会社

# システム導入による「車両の見える化」で営業車の数を削減し事故の発生件数も大幅減



### Client Profile

その感動を、わかちあう。

各種飲料水の製造、販売、自動販売機のオペレート、その他関連業務

従業員数:約3,300名

※2018年4月現在

所在地 : 東京都墨田区吾妻橋一丁目23番1号

創立 : 1982年3月

資本金 : 11,081,688,000円



## 伝統を大切にしながらも新たな成長に挑む、総合飲料メーカー・アサヒ飲料株式会社

「三ツ矢」「カルピス」「ワダ」など数多くのメジャーなブランドを擁し、15年連続のプラス成長を続ける一方で、「アサヒ飲料 健康チャレンジ!」～自分も会社も世の中も健康に～というスローガンを掲げ、健康で快適な生活に貢献することに取り組んでいるのがアサヒ飲料株式会社です。同社の首都圏統括本部では、5つの営業所を統合して拠点を一ヶ所に集約することになったのをきっかけに車両を一元管理し可視化できるしくみを導入。稼働実績のデータから適正台数を割り出して無駄な営業車の削減を実現し、また営業担当者の安全意識を高めることで事故の発生件数を大きく減らすことにも成功しました。システムを導入することになった背景や選定理由、導入後の業務の変化、今後の展望などについて、人事総務部 総務グループ 前田氏、人事総務部 東日本人事総務部 森氏、澤谷氏の御三方にお話を伺いました。

## 「一人一台」を続けることで 無駄なコスト負担がかかっていた

横浜、千葉、大宮、恵比寿、晴海の5拠点を統合して晴海の一ヶ所に集約することになったのをきっかけに、アサヒ飲料株式会社では営業車の削減を検討していました。「当社では営業担当者一人に車一台を基本にしてきましたが、全ての車両が毎日稼働しているわけでもなく、多くの無駄が生じていました。

### システム導入で車両の無駄を見える化したい

今回拠点を集約することになった晴海(首都圏統括本部)は立地的にも駐車場が少なく、駐車場代も高額です。そこでこの機会に車両管理をシステム化し、適正台数を見極め、車両の削減を図りたいと考えました」と語るのは、今回の導入プロジェクトの中心メンバーである前田氏。「また、一人一台ということは、営業活動で持参する販促物や商品見本も営業担当の人数分用意しないといけないわけですが、使い切れずに廃棄することが多くありました。車両台数を減らし、共有化することでそれらのコストも削減できるのではと思ったのです」。



人事総務部 総務グループ  
前田 一久さん

## 単に商品を提供するだけでなく 運用ノウハウも提供してもらえるから

一口に車両管理システムと言ってもさまざまな製品がある中で今回Cariotが選ばれた理由はどこにあったのでしょうか。

前田氏が続けます。

「商品の売り込みだけなら他社からもさまざまなアプローチがあったのですが、キヤノンさんが他と違ったのは、使う側に立ったご提案をさせていただけたこと。

### 生の運用ノウハウまで提供してもらえる

何よりキヤノンさん自身が車両の見える化により、営業車両および交通事故・違反を大幅に削減できたことを、まだ検討段階でありながら、実際に運用を行っている総務部門との情報交換の機会も設けていただき、より具体的に導入イメージを持つことができました。商品だけでなく、『利用者』の視点で運用ノウハウも含めて提供してもらえることはやはり選定の一番のポイントになりましたね」。

### 付け外しが簡単で、他拠点に使い回しもできる

システムの選定にあたっては、設置が簡単で営業担当者が自分で取り付けられることも大きかったと言います。「もし営業車の台数が減り、機器に余剰が出たとしても、付け外しが自由にできるので、他の拠点で簡単に使い回すことが可能です。加えて、今まで一人一台体制で車両を自由に使えていたぶん、乗りたい時になるべくスムーズに乗れるようにと予約管理の機能を要望したところ、バージョンアップで実装対応いただけることに。対応一つひとつに信頼を置けたことが最後の決め手になりました」。



人事総務部 東日本人事総務部  
森 宏明さん



人事総務部 東日本人事総務部  
澤谷 将雄さん

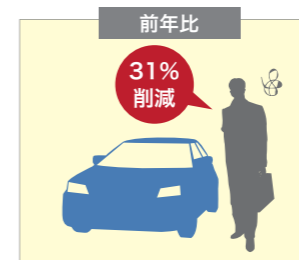
## 約20台の車両台数削減を実現して 事故の発生件数も前年比31%削減に

### 導入初年度で10%の車両を削減

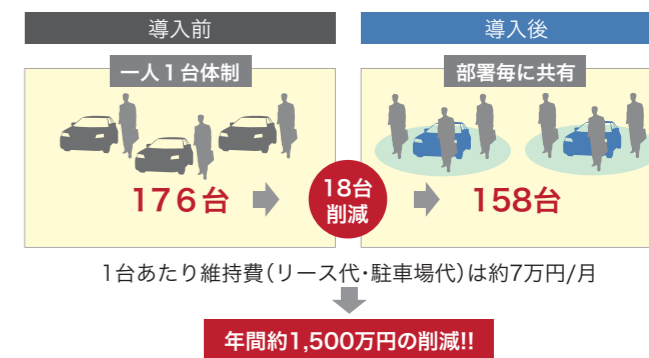
「5拠点で計176台あった車両は、システム導入後に158台まで減りました。一台あたりのランニングコストは、駐車場代やリース代でおおよそ月額7万円くらいなので、これだけでも相当なコストダウンになったことがお分かりいただけると思います。一人一台時代は個々の荷物も積んだままでしたし、各自が自分の必要とするモノを取り付けたりして、さながら自家用車のようなので。部ごとの共有車両になったことで皆さんずいぶんきれいに使うようになりました」と語るのは、澤谷氏。また、導入後の成果として、安全面の向上を挙げるのが東日本人事総務部の部長としてプロジェクトを指揮する森氏です。



### 【事故発生件数】



### 【保有台数の推移】



### 後追いの安全対策から、未然の予防へ

「これまでは事故が起きてから後手後手で危険運転対策を考えていたのですが、車両管理システムを導入することで急加速や急ブレーキの回数など危険運転をデータで確認でき、予防施策の実施が可能になりました。実際に所属長などが集まる定例会議でもデータをオープンにすると皆さん興味を持っていただけます。そして所属長から部下に直接指導がいくようになり、社員一人ひとりの安全意識がかなり高まりましたね。数値的には前年比で事故件数が31%削減となり、効果はてきめんだったと思います」。

## より一層の台数削減を目指すとともに 大阪・名古屋をはじめ、全国にも順次展開

### やり方次第でまだまだ削減の余地はある

「現在の稼働率は最大80%で、平均すると70%くらい。今は部ごとの共有なので、これを支社ごとに共有の範囲を広げたり、外部のシェアカーを取り入れていくなど、取り組みを強化し、導入2年目では更に20台強の削減を計画中です。なお、使うメリットがないとなかなか活用されないの、走行データや行き先などを書いた営業日誌もシステムに取り込み、自動化することで営業担当者の負担を軽くしていこうと計画しています。また、ログイン時にアルコールチェック結果の入力を必須にするなど、次のバージョンアップでの機能追加も進めています」と語る前田氏。交通機関が発達している東名阪を皮切りに、順次、全国の拠点にも導入予定という同社の取り組みに期待です。

### 【稼働率の推移】

